

## 第3回福知山市行政改革推進委員会 議事録

日時:令和5年10月13日(金)

午前10時30分から

場所:オンライン開催

### ■出席者

【委員(敬称略)】

深尾 昌峰、菊田 学美、井上 拓、浦尾 たか子、細見 祐介、村尾 慎哉

【市】

市長公室長、財務部長、市長公室次長、経営戦略課長、財政課長、事務局

### ■報告事項

(1) 令和5年度施策レビューの実施結果について

市

《資料1~3 説明》

委員

今ご説明いただいた件に関してご意見・ご質問があればお願いをしたいと思うが、いかがか。

委員

後半の振り返りにもちょっと絡むのかもしれないので、まずはさらっと全体としてのコメントをさせていただければと思う。施策レビューと実施結果に関して。

全体を通して、参加させていただいて、担当課の皆さん、また事務局の皆さんがしっかりと準備されて施策レビューに臨んでいるということを感じた。それがアンケートの結果にも出ているなとらえて拝見した。

のちほど振り返りもあるかと思うが、施策そのものの結果に関しては、やっぱり施策の難しさとか、幅広い事業を含む施策に関してはそれをそもそも説明する難しさというところが、両方あったのかなというふうに感じたところで、その辺りはしっかりと議論をする必要があるのかなというふうにとらえた。

事務局の皆さんの準備も含めて、各担当課の方の事前のフォローというのもしっかりとしていただいていたのではないかなというのを、当日の説明や議論という中では感じたので改めて感謝を申し上げるとともに、また来年に向けて、全体の改善というか、進め方やこのアンケートの取り方も何か細かいところの調整や検討ができればなと感じた。

委員

今あったように、あとのところで振り返りの議題を設定いただいているので、今後の改善提案等に関してはそちらの方で、ご議論いただければと思う。

今資料説明いただいたところで何か他にあるか。(→なし)

あとでしっかり時間がとってあるので、そちらの方でお願いができればというふうにする。ご質問とかご意見あればと思うが、よいか。では、続いての報告事項に参りたい。

## (2) 行政改革大綱 2022-2026 進捗状況について

市

### 《資料4 説明》

委員

今、進捗状況について説明をいただいたが、何かご質問とかご意見があればお願いをしたいと思う。

委員

まず、質問をさせていただきたい。4ページに記載いただいている、一番後ろのところ、「EBPMの推進」の16番に関して質問がある。

今回の管理職の皆さんのコメントに「データというものを受け付けられない」「データへの嫌悪感」という、なかなか聞き馴染みのないような表現で書かれているところがあるが、これは実際どういったことが起きているというか、こういった方が管理職の方に多いのか、一部の方なのかとか、補足の説明をいただけると嬉しい。

市

こちらのアンケートの中でいただいた意見の中では、どうしても管理監督職の年次が上の層になり、そういった中でEBPMの本質のところというよりも、例えばいわゆるデジタルツールを駆使してデータを解析分析したり、そういったニュアンスのところ拒絶意識をお持ちの方がいらっしゃるようになってきているところである。

そういったところのEBPMというものが、必ずしもツールでデータを分析するということところがメインではなく、打ち出している施策事業というものも、いわゆる効果を客観的な指標に基づいて積み上げていくといったところの基本的な考え方というのは、今年度上半期に全庁の説明会として、国の総務省の方による説明会を開催した。引き続き後半についても、職員、庁内横断的に理解していただけるように、かみ砕いて周知してみよう、そういった取組を進めて参りたい。

委員

データというそのものよりは、ツールとかデジタルに対する苦手意識ということで理解した。

委員

他いかがか。

委員

いろいろ今ご説明いただいたが、経営戦略課としては、概ねこれは想定通り順調に進んでいるというふうに判断されているのかどうか、全体的な判断をまず一つ教えていただきたいのと、項目の中には想定よりも遅れているものもあるのかと思うが、そのあたりの原因分析や今後の取組についても、まとめられているのかどうか、この2点を教えていただきたい。

市

まず1点目の全体の取組状況だが、進捗状況をはかる一つの数値としての指標については、概ね、2026年度に向けて進捗しているように見えるが、やはり担当課と協議を重ねる中では、数値は良いが、この個別の数字の中身を見たときに、なかなかその取組の目的としているところが各課に十分理解されて取り組まれているのかという実感でいくと、まだちょっと足りてない部分が複数あるのではないかなと思ったところを感じているので、先ほどの報告でも申し上げたように、数値が一定進んでいるから、それでよしとなってしまうよう、繰り返し、行革大綱が目指しているところの意義や、そういったところは、定期的に主担当課、また、全庁的にも発信をしていく必要があるとあるので、これが一つである。

また、概ね16の取組につきまして、未着手というわけではないが、なかなかちょっと数値上も動きが見えづらいところがあるということも感じている。こういったところは、経営戦略課としても、いわゆる全庁的に、例えば掲示板とかそういったグループウェアで発信することだけで一方的に止まってしまうのではなく、できるだけ担当課・現場レベルでも、実際の取組を受けとめる状況とか、そういったところをヒアリングしながら、旗振り役の部署が発信していることが伝わっているのか、また、そもそも旗振り役となる部署が、その取組を目指しているところをしっかりと認識できているのか、そういったところは繰り返し確認を行う必要があると考えており、今年度も2,3ヶ月ごとに1度は、主担当課が集まって進捗会議と、それぞれの関係課で感じていただいている課題を共有していきたいと感じているところである。

#### 委員

他いかがか。(→なし)

それでは続いて、報告事項3番目についてのご報告をよろしく願います。

### (3) 外郭団体の点検・評価について

#### 市

《資料5 説明》

#### 委員

発展的改組とされた団体が今回対象外になる。おそらくもうこの令和4年度に完了するからだというふうに理解をしているが、この福知山まちづくり株式会社と大江観光株式会社は令和4年度の時点でこういった形で、最終結論となって発展的改組されたかというところを少し補足して説明いただきたい。

#### 市

先ほどお尋ねいただいた2団体、まちづくり株式会社と大江観光株式会社については、まず、市のエリアを比較的限定した形で、まちづくりに取り組むという団体である。こちらについては、市が市全域でまちづくりに取り組む団体の要否をまず考えることとした。それを踏まえて、引続きエリアを限定して活動される場合には、外郭団体の位置付けを外れ、独自の取組をされるか、新しく市が作る団体に参画をいただくかというのを、令和4年度中にご相談をいただくということで、中期経営計画は策定していない。

大江観光株式会社については、市がこの6月に設立した、まちづくりを担う団体に事業承継という形で、すべての事業を譲渡いただいているので、今後、中期経営計画を策

定する予定はない。福知山まちづくり株式会社については、現在も参画について、役員の方と協議中である。

この結果を踏まえて、外郭団体として、一定残存する期間があれば、その間については中期経営計画を策定いただいて、その間については少し時期がずれる形にはなるが、点検評価を行っていくというふうに考えている。

**委員**

三次評価で、行政改革推進委員もメンバーに入っているが、5つの団体を評価するというので、この5つの団体の評価者5名っていうのは固定なのか。それとも、何人か入れ替わるとかそういうこともあったりするのか。どういうふうにメンバーが決まってくるのか聞きたい。

**市**

こちらのメンバーについては、評価自体が初めての取組になるので、特にメンバーや体制図というのを詳細まで今確定するものではない。ただ、おっしゃるように団体それぞれ性質が違うので、どういった方に委員として加わっていただけるかについては今後じっくりと検討したい。

## ■議事

### 施策レビューのふりかえりと今後の進め方について

**市**

#### 《資料6 説明》

**委員**

今、レビューの振り返りと、今後の進め方についての説明があった。今日は何か決めるといふよりは、皆さん方がご参加いただいて感じられたこととか、来年度に向けてこういう形で進めていった方がいいよねとか、今日は少し拡散的にアイデアを出していただいたり、意見を出していただいたりということで、それを事務局の方で引き取っていただいて、整理していただくという位置付けにしたいと思うので、率直なご意見をいただければと思う。いかがか。

**委員**

まず質問をさせていただければと思う。

担当課の対応のところの部分で、先ほど事務局からの説明の中で、参加した部課の方からも意見をいただきながら検討しているところというふうにご説明いただいたが、もし差し支えなければ、どういった意見があったか、少しお伺いできればなというふうに思う。

背景としては私としても当日極力議論が円滑に進むように、論点を外さないような質問を心がけたつもりではあったが、実際に担当課の皆さんが質問を受けた中で、率直にどう感じたかとか、逆に答えにくいとか、そう聞かれても、みたいなところがあったかとか、来年に向けて我々も意識をしたほうがよいことがあるのか、参考になればなどと思い、もしちゃんと参加した部課の方から意見があれば、当日に限らず事前の準備も含めて、どんな意見が出ていたかというところをお伺いできればと思う。

#### 委員

大切なポイントである。  
事務局の皆さんの方で、何かあればお願いしたい。

#### 市

各課からすべて出てきたわけではないので一概にはないが、聞こえてくるところでいうと、やはりすべて説明をしきれなかった部分とか、説明をしようと思ったけれど遮られて話の流れに乗れなかった部分もあったりしたのと、やはり説明する際に当日緊張で言えなかった部分もあるようには聞いている。まだまとめきれていないので申し訳ないが、こういったことはチラッと聞いている。

#### 委員

もしまた次回以降にまとめられる機会があれば、こちらでも共有いただけると参考にさせていただきたいと思うのでよろしくお願いしたい。

#### 委員

時間が経った後に反応をちゃんともらうのも大事だが、その参加者のアンケートと同じように、そのとき感じたことを担当課とか説明された方々に軽いアンケートを取ってもしいいかもしれない。そのときの気持ちというか、どういうところに引っかかったのかとか、説明しきれなかったとか、緊張したとか、そういう反応をもらうというようなこともあってもいいのかもしれない。

#### 委員

今回、事前にコーディネーターとともに論点整理をしていただき、前年度よりも随分その当日を迎えるに当たって、資料の読み込みの時にどういった切り口でこの事業について意見を述べることで、基本政策に結びついていくような方向性を導き出していけるか、みたいな考え方が整理できたので、非常に助かったというか、よかったと思った。そのことを、我々もだが、担当課の方は論点を事前に打ち合わせされているので、共通認識しておられたと思うが、市民パートナーとか、学生にもこういうことで、意見をもらいたいという論点を整理しておいた方が、建設的な意見が出るのではないかなと雑駁な意見を感じたのと、私が担当したところで、文化に対するところがあり、文化ホールの計画が主な事業だったけれども、どうしてもその事業の方に市民パートナーは向いてしまって、施策自体の方向性までは、気持ちがいってないような気がしたので、一つの例ではあるが、みんなで方向・論点を認識した上で意見を言い合うっていう設えをするともっと良くなるのかなというのを感じた。

あと、事業自体のことで、具体的な施策の話だが、スタートアップ事業を支援していくっていう施策があり、ふと思い出したのだが、随分前に、大河ドラマを誘致するっていう事業レビューの時に誘致できるかどうか分からないのにそこに予算を投じるのは、って意見がたくさん出て、私も同感だったのだが、蓋を開けてみると誘致ができて、まちの活性化になったということがあって。今回のスタートアップ事業も今考えると、もしかしたら市が考えていることがうまく乗って行って、まちの活性化にも、もしかしたら飛躍的に役立ちそうかもしれないなと思いながら話を聞いていて。

市の方からプレゼンする時に、もっとこういうことでこういう数値であるとか、根拠になることであるとか、もっと明確に出してもらおうと、もしかするともっと良い意見が

出たのではないかというふう感じたので、プレゼンの思い、載せる根拠みたいなものもあわせて、もっと出してもらおうと、こちらも賛成意見が言えてもっと前向きな意見が出せたのではないかなというふう感じた。

#### 委員

今言われたようにある程度論点を絞って議論していかないと時間の制約もあると思うが、項目2の資料の量が多かったという市民パートナーの方のアンケート意見もあって、私も個人的にはちょっと資料のボリュームが多いのではないかなというふうには思っているが、施策体系シートの記載内容の精度を上げることによって対応していくということで、一応記載されているが、ある程度議論する予定の論点に絞った内容の資料に強弱をつけたら、もうちょっと資料が少なくできるのではないかなとも思う。網羅的にいろいろ資料を提供したほうが良いという意見もあるとは思いますが、ご検討いただきたいというのが一つ。

それから、もう1点は項目5の市民パートナーの方の対応だが、当日意見が言えないことへの不満があった云々のところで、改めて検討されるということになっているが、私が参加した会場ではそういう市民パートナーの方がおられていろいろ手を挙げて意見を言われていたが、ただ論点が混乱する可能性があるので、無作為に発言されると、ちょっとその辺りはあまり時間をとっても、議論が進むのかな、というふう思うし、逆にアンケートに思いを記載していただければ、市としては市民パートナーの方の意見も集約可能だと思うので、当日に発言機会を多く設けることによるプラスメリットというのは限られた時間の中で、どうかとも思うので、合わせて検討をお願いしたいと思う。

#### 委員

今の二つ目のところは大事なポイントである。意見があったということで、意見があったからそれを取り入れましょうということは、本当にそれがこういう場にとっていいのかどうかということも少し総合的に考えなきゃいけないということだと思う。

その辺りも、レビューの持ち方というところと、それぞれの評価者の位置付け方との関係で考えていかなければいけないなと改めて思った。他いかがか。

#### 委員

まず一番思っているのが時間。施策によって時間の長短を多少つけてもいいのではないかなというのがある。私に対応した施策の中でも、一つの施策は思ったより時間がかからなかった、少し時間ありそうだな、っていう施策があったが、やはり時間が決まっているので、結果的には早く終わったけれども、それなら他のもうちょっと論点が複雑になりそうなところに時間をかける。そのための事前の論点整理があるのかなと思うので、事前の論点整理のところでこの施策は内容的にも複雑だとか、時間がかかりそうだなというのはちょっと長めに取っていただくっていう時間の強弱っていうのももしかしたら必要なのかなあというのを一つ思っている。

あとは、今回高校生の方の参加があり、ものすごく自分の実体験とか、周りの環境、また家族とか、その辺りのことをベースにした意見というのをすごくたくさん出してもらっていて。やっぱり僕らから見た視点と、高校生の視点っていうのが全然違うところを見ているので、将来、彼らがこの福知山市を背負っていくので、そこに対してうまく市の考え方を伝えられることがどこまでできるかっていうのが、今回のアンケートでも資料の適切さとかいろいろあるが、そこが結構大事なのかなと。確かに市民パートナーに対する伝え方も大事だが、高校生たちが将来、高校でこういうふうなことをしている

っていうのをもっと理解してもらえそうな形で進めていけたらなど、ちょっと抽象的な意見だが思った。

#### 委員

このレビューの振返り資料の6で、きちっとまとめていただいているなというふうにする。この当日の資料が多いという点についてだが、今回は事前に論点の整理をして臨んだとは思いますが、やはり多くなる理由として、施策に対して、市民や第三者が課題と持っているということ、担当課さんが課題と持っているところとの違いもあり、いろいろ課題があるのでいいと思うが、その辺の視点の違いから、ここにも書いてあるように、多様な視点での論点整理となってくるという結果において、やはり文書も増えていかざるをえない部分があるのかなあと思う。その辺はそれぞれの立場、見地に立って、読みこなして、よりよい課題認識に向けての改善策をその場で検討していくということにならざるをえないのかなというふうにする。

当日は時間配分も良く、又、非常にコーディネーターの方もうまくまとめていただいていたので、全体的によかったと思う。今、意見もあったように、市民パートナーの方も高校生の方も、この機会を経て、また新たないろんな気づきになっていく場としては非常に有用な場になっているというふうにするので、そのあたりをまた来年度に向けて、より良くしていくために、時間配分や、あるいは又、何か別に意見を聞くそういった機会を設けるといふようなことも含めて、検討していけばどうかと思う。

#### 委員

去年から比べると、かなり工夫をして論点整理していただいたっていうことで、スムーズというか、非常にいい形にはなっているなというふうには思う。資料の問題とか、あとは参加者の多様性みたいなもので、高校生が入ってよかったってことは確かにそうだと思うので。

よりやはりいろんな多様な市民の皆さん方が、参加できるか。例えば大学生とかもいるが、大学生というカテゴリーが本当にいいのか。例えば同世代でも働いている人達もいるわけで、やはり多様な目で、施策を見てもらう、いろんな視点で見てもらうということは非常に大事だということだと、やはりより多様な参加者・市民の皆さん方に参加していただき、その参加していただいた市民の皆さん方がやはりそれぞれの施策をきちんと理解できる資料のあり方、説明のあり方っていうところは、これは永遠の課題のようなところもあるが、少しずつでも改善ができていけばいいのかなというふうに、皆さんのご意見を聞きながら思った。少しずつでも改善していく、議論をできればと思う。

予定をしていた会議の内容はすべて終了になるが、何か今の最後のところも含めて特に皆さんがたの方でご意見があればと思うが、いかがか。(→なし)。

それでは、本日の委員会については以上で終了とさせていただきます。

以上